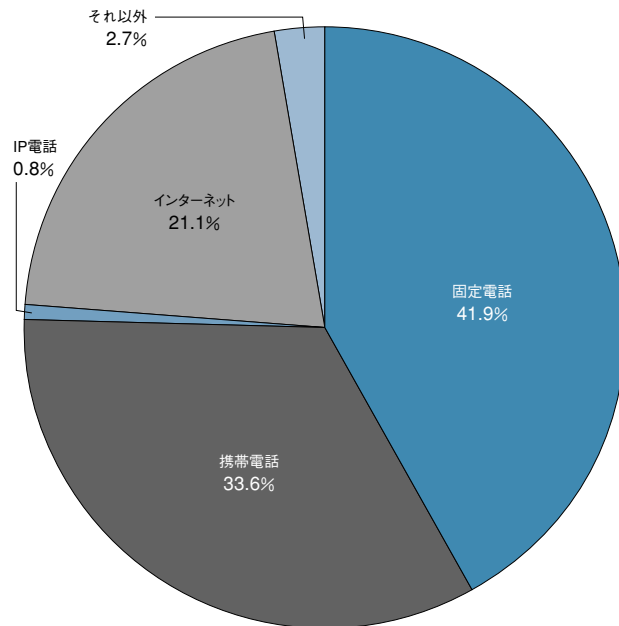


## 通信コスト

## 通信コストの比率は固定電話が高く、IP電話はほぼ0%

資料3-1-8 回線別通信コストの比率 N=890



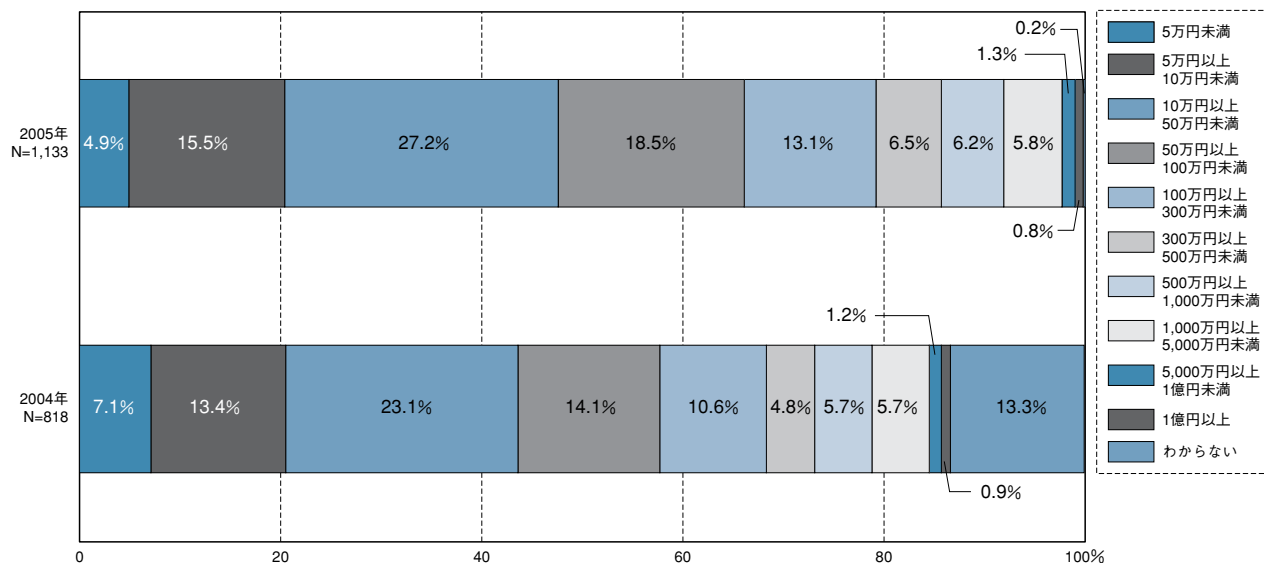
©Access Media/impress,2005

通信費全体を100%とした固定電話、携帯電話・PHSを含む移動体通信、IP電話、インターネット接続回線、それ以外の月額利用料金の平均比率である。有効回答数は890サンプル。約4割が固定電話であるが、法人契約率が伸びている携帯電話通信費も33.6%と追随している。IP電話は導入企業が少なく、コストが安いいため0%が多く、全体でのコスト比率は低い。

# 通信コスト

## 年間通信コストは増加の傾向

資料3-1-9 年間通信コスト (2004年-2005年)

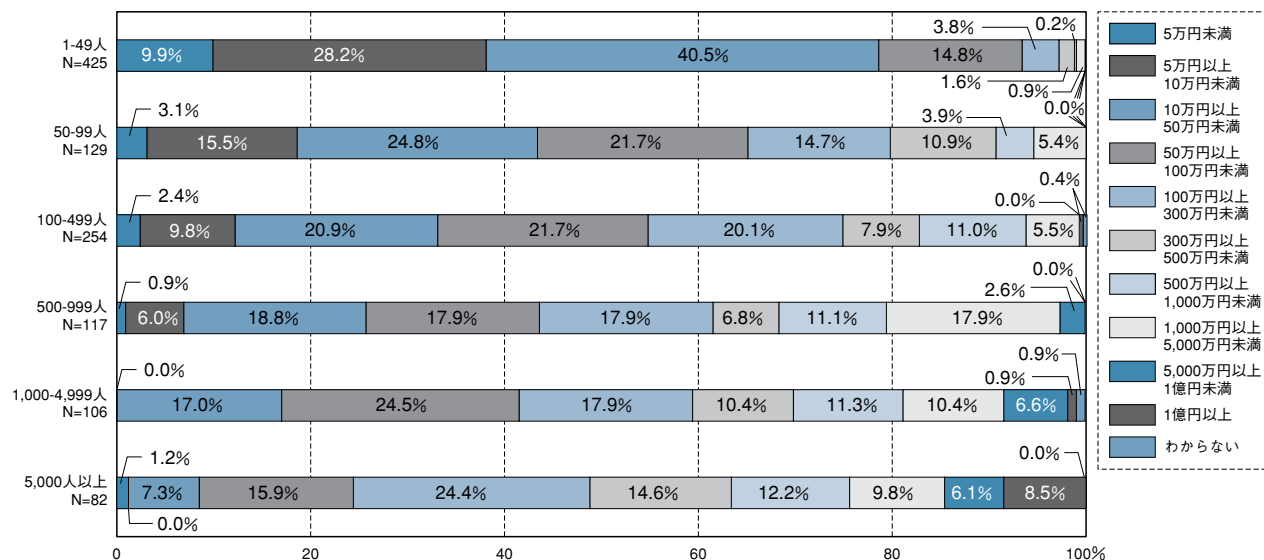


年間通信コストは、10万円以上100万円未満が中心であるのは昨年と同様である。通信コスト削減を課題にあげる企業は多いが、実際のところ昨年と比較すると、「わからない」を除いても通信コストは増加する傾向がみられる。

©Access Media/ impress,2005

## IP電話導入でコスト削減を目指す

資料3-1-10 従業員規模別 年間通信コスト



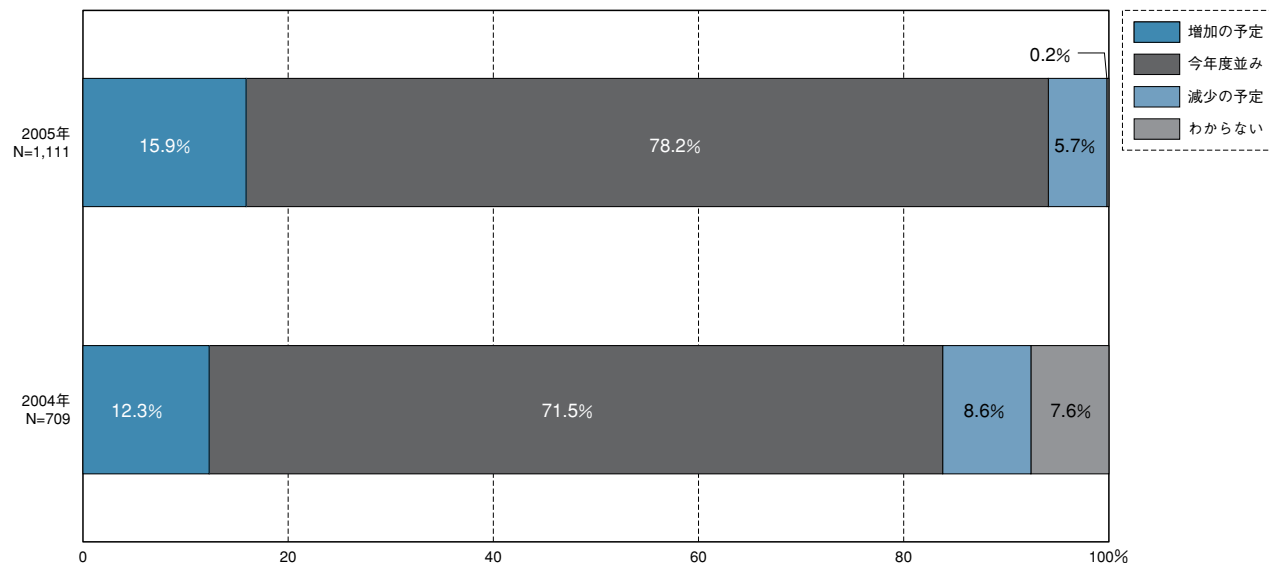
従業員規模別でみた年間通信コストであるが、当然のことながら大規模になるほど通信コストは上がっている。通信コストは、固定電話、携帯電話、IP電話、インターネットなどが考えられるが、IP電話導入などにより通信コスト削減が望まれる。

©Access Media/ impress,2005

通信コスト

### 今年度並みを維持する企業が多数

資料3-1-11 来年度の通信コストの予算増減見込み (2004年-2005年)

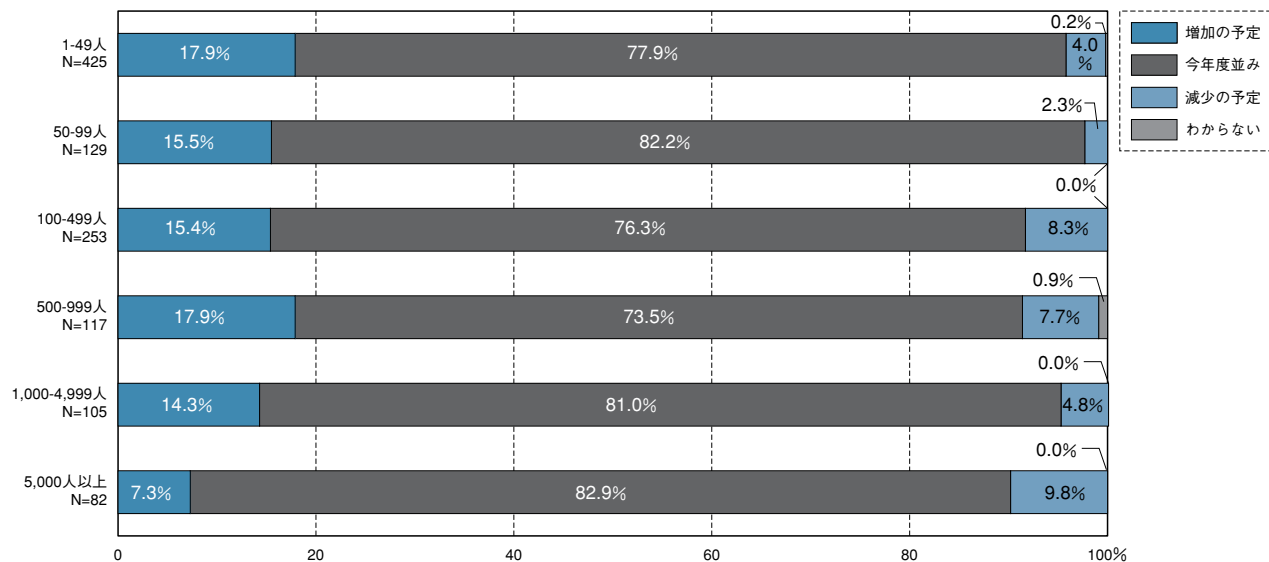


来年度の通信コストの予算増減見込みを聞いた。全体的には、「今年度並み」を維持するところが多い。「増加の予定」は昨年の12.3%から今年は15.9%とやや増えている。「減少の予定」は昨年の8.6%から今年は5.7%と減っている。

©Access Media/  
impress,2005

### 1,000人未満の企業では予算増加の見込み

資料3-1-12 従業員規模別 来年度の通信コストの予算増減見込み



1,000人未満の企業では通信コストの増加を見込んでいる率が高い。これは、インフラ導入の初期投資による増額などが考えられる。5,000人以上の規模では「減少の予定」が9.8%とやや高くなっており、システム導入効果が表われる頃であると思われる。

©Access Media/  
impress,2005



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)